

生涯学習・社会教育関係職員研修講座

「中堅職員研修（第4回）」

日時:平成27年11月10日(火)

会場:青森県総合社会教育センター 第1研修室

1. 講義

生涯学習・社会教育関係職員研修講座（中堅職員研修 第4回）が11月10日（火）、当センターで実施され、約30名の社会教育関係職員が参加し研修が行われました。午前中の講義では山形県南陽市みらい戦略課文化会館庶務係長 **嶋貫 憲仁** 氏より、「社会教育分野における青少年教育の実際」というテーマの基、山形県南陽市の事例を取り上げ、丁寧に説明していただきました。受講者は真剣な表情でお話を聞いていました。

【講義の様子①】



【講義の様子②】



【講義の様子③】



【講義の様子④】



【講義の概要】

- ・計画（事業）成功の秘訣は、丸投げしない、プロセスを大事にする、手間暇をかける、チラシやストーリーなど目を引く何かがあること、そして**相互学習の姿勢**である。
- ・参加者の満足度（やる気）を高めるためには、こまめに事業をアピールし、参加者同士で話す時間を多くとり、そして一緒に行動していくことが大事である。
- ・社会教育は役所の中で**一番幸せな部署**である。学習により意識、考え、行動が変われば教育は、まちを変える源となる。
- ・学校教育ではテキストがあるが、社会教育はテキストがない。だからこそしっかりとした事業計画が大事である。

※ 社会教育関係職員にとって、大変、心に響くお話をしていただきました。

2. 演習

午後は弘前大学教育学部講師 **松本 大** 氏による演習が行われました。午前中の嶋貫氏の講義を基に前半は「山形県南陽市の事例から学んだこと」、後半は「自治体における青少年教育の課題」をそれぞれテーマとし、各グループでの話し合いが持たれました。その後、グループごとに発表していただき、特に青少年教育の課題については各自治体で抱える共通点も多く、受講者同士が共感している様子が見られるなど、大変有意義な演習となりました。演習の最後に嶋貫氏、松本氏に総括していただきました。

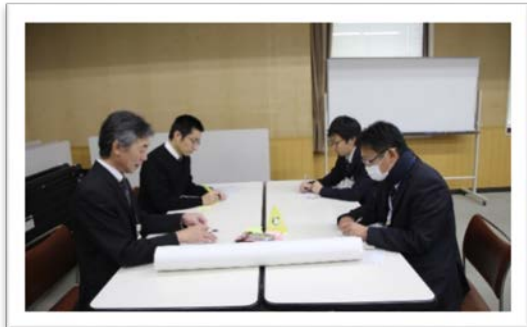
【演習の様子①】



【演習の様子②】



【演習の様子③】



【演習の様子④】



【演習のまとめ】

- ・社会教育の中心は「**若者**」であり、「若者」の**共同学習**が大事。
- ・生活課題や地域課題を若者と一緒に共同学習している点が南陽市のしくみのポイント。
- ・地域にキーパーソンとなる**リーダー**が必要であり、リーダーを中心に小集団を形成し、**仲間づくり**に時間をかけていくことが重要。

※ 青少年の抱える悩みや課題解決につながるヒントをたくさんいただきました。

〈講師プロフィール〉



嶋貫 憲仁 氏（山形県南陽市みらい戦略課文化会館 庶務係長）

1991年 国立千葉大学卒業

2007年 山形県南陽市教育委員会社会教育課社会教育係長

2015年 山形県南陽市みらい戦略課文化会館庶務係長

【主な活動・事例発表】

2013年 山形県川西町小松地区公民館長・主事合同研修会 講師

2013年 山形大学地域教育文化学部社会教育主事課程「社会教育計画B特別講義」講師



松本 大 氏（弘前大学教育学部 講師）

山形県出身。東北大学大学院教育学研究科博士課程後期修了博士（教育学）

2009年 東北福祉大学総合福祉学部 助教

2012年 弘前大学教育学部 講師

【主な著書】

「実践コミュニティの構築過程—NPOにおける学びの条件—」

（日本社会教育学会編『NPOと社会教育』東洋館出版社）他